Press Release

岐阜大学
GIFU UNIVERSITY

2026年10月29日

報道機関 各位

大学院医学系研究科に「看護学専攻博士後期課程」を新たに設置
－地域包括ケアを担う研究者・教育者・高度専門職を養成－

岐阜大学は2027年4月、大学院医学系研究科に「看護学専攻博士後期課程」を設置します。

我が国では、人口減少や少子高齢化、多死社会の進行に伴い、保健・医療・介護に対するニーズが増大するとともに、複雑化・高度化しています。こうした状況に対応するため、看護職には、科学的根拠に基づいて地域や臨床現場の課題を分析し、解決へ導く高度な研究能力が求められています。

本課程は、このような社会的要請に応えるため、複雑な保健医療上の課題を自律的に解決できる研究能力を備え、看護学の発展に寄与する人材の養成を目的として設置するものです。

教育研究体制の大きな特色として、教育・研究指導を柔軟かつ組織的に行うため、博士前期課程の2領域4分野10専門分野を統合し、「地域包括ケア看護学領域・地域包括ケア看護学分野」による1領域1分野体制を構築します。疾病や生活、社会環境などが複雑に絡み合う近年の健康課題に対応するため、従来の専門分野の枠組みを越え、既存分野を横断する統合的かつ学際的な教育研究を推進します。

また、看護の対象は医療機関内にとどまらず、在宅や地域へと広がっています。予防から急性期、回復期、慢性期、終末期まで、切れ目のない包括的ケアを支えるため、地域包括ケアを軸とした教育研究を展開します。

さらに、博士前期課程との体系的な連動により、修得した知識や研究基盤を発展させ、高度な専門知識と研究力を備えた人材を養成します。

教育、研究、臨床、地域など多様な場で活躍し、現場の課題解決や新たな知の創出を担う研究者、教育者、高度専門職の養成を通じて、看護学の発展と地域包括ケアの実現に貢献してまいります。

詳細は、別紙をご確認ください。

本件は「ぎふのミ・ラ・イ・エ」構想のうち下記を推進するものです。



「ぎふのミ・ラ・イ・エ」構想：
https://www.gifu-u.ac.jp/about/aims/gifu_miraie.html

岐阜大学は国立大学法人東海国立大学機構が運営する国立大学です。

MAKE NEW STANDARDS.
東海国立大学機構

東海国立大学機構 HP：https://www.thers.ac.jp/

問い合わせ先

国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学
医学部 看護学科学務係 酒光（さこう）
TEL：058-293-3215
E-mail：sako.nobuyoshi.c7@mail.f.thers.ac.jp

（別紙）

1. 募集人員

3名

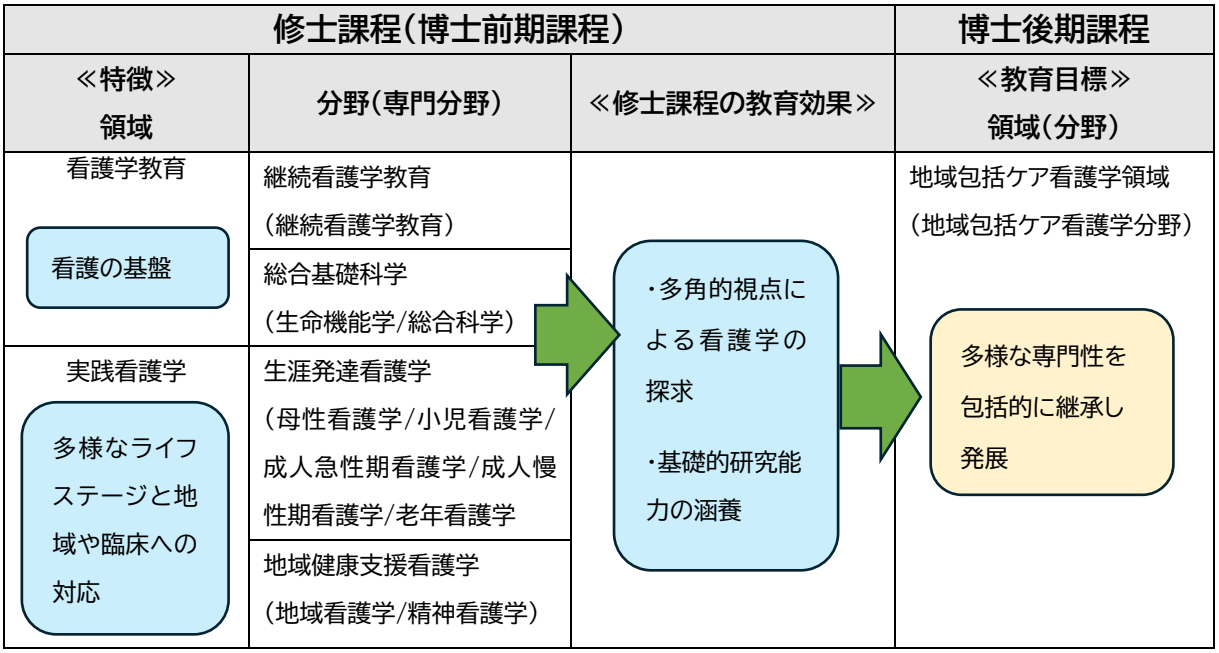
2. 修業年限

3 年（長期履修制度を利用する場合、最長 6 年）

3. 領域・分野

専攻（課程）	領域	分野
看護学（博士）	地域包括ケア看護学	地域包括ケア看護学

4. 現行の修士課程（博士前期課程）との関係



博士前期課程（現行の修士課程）では、看護学教育を基盤に、小児から高齢者までの多様なライフステージや地域・臨床に対応した教育・研究体制を整えています。学生は、自身の関心や専門性に応じて多角的な視点から看護学を探究し、基礎的な研究能力を身につけます。

一方、博士後期課程では、博士前期課程での多様な専門性を包括的に継承・発展させるため、「地域包括ケア看護学領域・地域包括ケア看護学分野」の１領域１分野を設置します。この領域は、小児から高齢者に至るすべてのライフステージを対象に、地域や臨床現場を横断した看護の実践・研究を統合的に捉える視座を重視します。

本課程では、現代社会における地域包括ケアの理念に基づき、個人・家族・地域を支える看護実践を探究します。博士前期課程で育成された教育力、基礎的研究力をさらに深化・発展させ、独自の研究課題を自律して解決していく力を養います。また、博士前期課程における各専門分野の指導教員と連携を図り、継続的かつ体系的な研究指導体制を整えることで、教育・研究の一貫性と持続可能性を担保します。

5. 養成する人材像、進路

博士後期課程では、以下のような人材を養成します。

看護学の高度な専門知識を有し、健康危機や高度化・複雑化する保健医療における課題を自律的に解決できる研究能力を備え、看護学の発展に寄与する人材

近年、全国的に看護系大学・大学院における看護教員が不足しており、地域や臨床の課題を科学的に分析できる高度な研究能力を有する人材の需要が高まっています。岐阜県においては、地域医療構想の実現と地域包括ケアシステムの創出・発展を担う看護系人材の養成が喫緊の課題となっています。

本課程では、看護学の知見を基盤に、教育・研究、地域・臨床など多様な場で理論と実践を融合し、保健医療に関する課題解決を担う人材を養成することを目的としています。修了後は、看護系大学・大学院において教育・研究を先導する教員や研究者、あるいは医療・保健・福祉機関等において高度な専門性と研究能力を生かし、組織を牽引する専門職としての活躍が期待されます。

6. 入試・募集情報

・ 願書受付期間　2027 年1月 18 日(月)～22 日(金)
（出願資格審査提出期間 2026 年 11 月 30 日(月)～12 月 4 日(金)）
・ 試験日 2027 年2月6日(土)